

## 令和4年度第1回広島市廃棄物処理事業審議会 議事要旨

### 1 日時

令和4年11月7日（月） 午後2時～午後3時40分

### 2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

### 3 出席委員

伊藤 圭子（会長）、佐々木 緑（副会長）、加藤 和行、古森 公人、崎田 省吾、高田 義典、  
鉄村 忠基、天玉 朝子、西村 千賀子、林 千秋、吉川 成美（以上11名）

### 4 次第

#### (1) 開会

#### (2) 議事

報告1 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和3年度における目標達成状況等について

報告2 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和3年度実施状況等について

報告3 広島市食品ロスの削減の推進に関する条例（仮称）について

#### (3) 閉会

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 傍聴人の人数

0名

### 7 会議資料

〈会議関係〉

○ 令和4年度第1回広島市廃棄物処理事業審議会 配席表

○ 広島市廃棄物処理事業審議会 委員名簿

〈議事関係〉

○ 資料1「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和3年度における目標達成状況等について」

○ 資料2「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和3年度実施状況等について」

○ 資料3「広島市食品ロスの削減の推進に関する条例（仮称）について」

8 議事要旨

発言者	発言要旨
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日は委員改選後の初めての開催となりますので、当審議会の会長・副会長の選任についてお諮りいたします。</li> </ul>
	<p>(事務局提案に基づき、委員の互選により、会長に伊藤委員が選任され、その後伊藤会長推薦により、副会長に佐々木委員が選任された。)</p>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日の議事は報告が3件である。事務局から説明をお願いする。</li> </ul>
環境政策課長	<p>【広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の令和3年度における目標達成状況等について(報告1)及び広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和3年度実施状況等について(報告2)を説明】</p>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告1及び報告2の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。</li> </ul>
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1の家庭ごみの排出量について、ごみを排出しないのが一番良いことと思うが、資源ごみが増加していることに関しては悪いことともいえないと思うがどう考えるのか。</li> <li>ごみの総排出に資源ごみは入っているのか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみが増えたことに関しては、昨年の資源物の持ち去り禁止に関する条例施行などにより回収量が増えたと考えられること、また資源ごみはリサイクルに回することを考えると他のごみとは違う評価になり、増えたことが悪いとはいえない。しかし、リサイクルをするのにも費用がかかるので資源ごみが増えることに関しては、良い面と悪い面の両方があるといえる。</li> <li>ごみの総排出に資源ごみは含まれている。</li> </ul>
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市は食品ロスの削減に関して様々な施策を講じているようであるが、食品ロスの発生量をどうやって調べているのか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1に参考として載せている組成分析調査の結果を用いて食品ロスの発生量を推計している。具体的に示すと、生ごみの中の「食べ残し」と「手つかず食品」を割合として算出し、それを可燃ごみの総量と掛け合わせることで推計している。</li> <li>令和3年度の本市の食品ロスの量は家庭系・事業系合わせて約3万トンである。その食品ロスの発生量を分かりやすいように、マツダスタジアム何杯分の食品ロスが出ているかといったようなイメージを添えて、ホームページに公開している。</li> </ul>
鉄村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2の事業番号54について、不法投棄防止キャンペーンを実施している区が記載してあるが、他の区においても実施していると思うがどうか。</li> </ul>
業務第一課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止キャンペーンについては、各区に実施を委ねている。佐伯区と南区では継続して実施して頂いている。他の区では全体的な区を挙げての取組には至っていないが、各学区の公衆衛生推進協議会などで個々に実施して頂いていると聞いている。</li> </ul>
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市は食品ロスの取組を行っているとのことだが、市に限らず食品ロスに関するデータは市場に出ている食品ロスのことを言っていると思うが、生産農家から出る規格外品など市場に出る前の膨大な食品ロスについて数字に表れていない。こういった規格外品なども市場に出るようにしてほしいと思う。市だけで取り組む問題ではないかもしれないが、市が率先してやっていただいてもいいのではないかと思う。</li> <li>市議会で食品ロス削減の推進に関する条例を作っているとのことなので、良い条例になればと思う。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会が提案している食品ロスの削減の推進に関する条例は、市に対しては実施</li> </ul>

発言者	発言要旨
	<p>する責務を有すると定められているが、市民や事業者に対しては努力義務を課している。その努力義務の中ではあるが、市場に出る前の食品ロスについても削減をしていくように定められている。これにより、市の取組を含め、事業者へも働きかけをしていきたいと考えている。</p>
佐々木副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1について、R3年実績とH25年実績を比べると焼却量は減っているのに、焼却灰の埋立量が増えているのは何故か。</li> </ul>
業務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>安佐北工場で発生した焼却灰は埋立処分を行わず、セメント原料にリサイクルしていたが、平成30年度末で安佐北工場の稼働を停止し、令和元年度以降は全量埋立としているため、埋立処分量が増加した。また、焼却量に対する焼却灰の発生割合は、焼却工場毎に異なるため、工場毎の焼却量の比率によって焼却灰の量に変化が生じることもある。</li> </ul>
佐々木副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでリサイクルされていたものが、されなくなっているという状況をお伺いすると他都市ではリサイクルをしているので、検討してもいいのではと思う。</li> </ul>
業務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却するごみの内容等により発生する焼却灰の質が異なり、セメント原料としてのリサイクルに向くものと向かないものがある中、安佐北工場の焼却灰はリサイクルに向いていたことから実施していたものである。安佐北工場の稼働停止後については、コスト面での観点も含めて検討し、焼却灰の全量埋立に見直したところである。</li> </ul>
佐々木副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業番号32について、恵下埋立地の道路等が被災したと記載があるが、埋立地そのものの機能に問題は無かったのか。</li> </ul>
埋立地整備管理課担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立地そのものについて被害は出ていない。今回の被災を受けて、被災箇所以外の道路について安全調査を行った結果、3か所対応する必要があると分かったため、被災箇所の復旧工事後、安全対策工事等を行うこととしている。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告1及び報告2について、この他に御意見・御質問等はないか。</li> <li>それでは報告3について、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
環境政策課長	<p><b>【広島市食品ロスの削減の推進に関する条例（仮称）について（報告3）を説明】</b></p>
佐々木副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会に関しては通常であれば一般廃棄物を対象にした審議の場と考えられるが、食品事業者や農業などの産業から出てくる食品ロスも対象となり、産業廃棄物も含むのか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>条例の素案の9条に食品関連事業者等の取組に対する支援について記載を見ると、一般廃棄物のみではなく産業廃棄物も含まれる。広島市廃棄物処理事業審議会では基本的には一般廃棄物を対象としたものであるが、食品ロスに関しては一般廃棄物と産業廃棄物を分ける必要はなく全体を食品ロスとして削減に取り組むべきと考えるため、部会においても条例に記載のとおり食品ロス全体の削減を審議していただくものとなる。</li> </ul>
林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催の食品ロス削減のイベントがエールエールの地下、広島駅南口地下広場であったと思うが、これは条例に関係したものであったのか。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催の食品ロス削減イベントに関しては、令和元年10月食品ロス削減推進法の制定を受けて、令和元年10月30日に初めてイベントを実施した。本来であれば毎年イベントを実施していくべきであるが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から令和2年と令和3年は中止しており、3年ぶりに実施したものである。</li> <li>直接条例に関係したイベントではないが、市議会のメンバーもブースを出展しており、行政だけでなく市議会も一緒に食品ロスへの取組を進めていると感じる場</li> </ul>

発言者	発言要旨
	<p>になったと考えている。</p>
林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場される人が少なかったように感じた。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少し広報が必要であったということだと思ふ。</li> </ul>
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の責務の中に「消費者、事業者及び学生等に対し、食品ロスの削減に関する普及啓発を行う」となっているが、大学にいて実感していることは学生の好き嫌が多く、たくさん食べる人も少なくなっているように感じるため、このような取組を行っていただけることはありがたいと思う。</li> <li>・ 食品ロスについて疑問をもたれている方は多いと思うので、そういった方に勉強をしてもらったら認定をする制度などを作って、さらにその方に講師をしてもらうなどして、食品ロスについての認識を広げてもらうような制度を作ってもいいのではないかと思った。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品ロス削減に関しては普及啓発が一番重要であると以前から感じている。昨年これまでとは違う切り口でパンフレットを作成し、日常生活の中で食品ロスを削減するために気を付けるポイントなどを紹介している。このパンフレットは町内会に入っている全ての市民にお送りしている。イベントにおいてもそういった普及啓発のためのコンセプトで実施した。食品ロスを減らすためには消費者庁から大きく3つのコツがあるとされており「買いすぎない」「作りすぎない」「食べ残さない」の3つのコツを市民の方にPR等の取組をしている。</li> <li>・ 認定制度については、一定の講習を受けてもらうことで「食品ロス削減推進サポーター」に認定し、地域等で普及活動を行っていただく制度が消費者庁で始まっており、これから浸透していくようにしていきたい。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小売の立場から古森委員から何かご意見をあれば頂戴したい。</li> </ul>
古森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会に出席したり、消費者協会の会合に出席し、あいあいねっとの原田さんのお話を聞いたこともあるが、食品ロスは大変な問題だと感じている。スーパーマーケットとして何ができるのかを考えると、難しいことが多いと感じるが、事業者の立場としてご意見が出せればいいと思っている。</li> <li>・ 市のパンフレットや取組を見ているが、まだまだPRが足りないように感じる。不揃いの野菜を販売したり、規格外の魚などをあえて使ったりしていることが報道されているのを見ると、そういった取組が珍しく少ないのだと感じる。市の方ではそういった取組に関するPRをして欲しいと感じる。今回のイベントに関してもフードフェスティバルと同日ということもどうかと感じている。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やはり広報がネックのように感じる。</li> </ul>
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者協会の会合において、市がイベントを行ったエールエール地下広場は人通りが少なく、紙屋町シャレオなどは人通りが多いと話が出た。費用面もあるのかもしれないが、意見として伝えさせていただく。</li> </ul>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古森委員からのご意見も含め、回答させていただくと、10月30日が法律で食品ロス削減の日とされており、3年前のイベントも同日に行ったため今年も10月30日に開催となり、フードフェスティバルと同日になってしまった。日にちや場所に関しては、久しぶりの開催であったため10月30日にエールエール地下広場で開催したが、今後のイベントに関しては、おっしゃるとおり多くの人に参加して頂くのが一番と感じているため、10月30日にこだわらず集客を増やすため土日開催の上、会場等も検討していきたい。</li> </ul>
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この他、御意見・御質問等ないので、本日予定していた議事についてはこれで終了する。</li> </ul>